

パレードでの武装中止と 子どもへの啓蒙活動を 申し入れてきました



5月29日 滝川駐屯地創立記念行事市中パレード協賛会に、日本共産党北空知留萌地区委員会が申し入れを行いました。

申し入れ書の主な内容です

災害支援で果たしている活動は評価しています

特に東日本大震災では、行方不明者の捜索と被災者のために、多大な貢献をされました

イラクや国際平和維持活動への 武器持ち込みは憲法違反です

滝川駐屯地から派遣されたイラクは、アメリカ軍が10万人以上のイラク人の命を奪った戦争地帯でした。ゴラン高原、ハイチ共和国、南スーダンなどの国際平和維持活動も危険な状態でした。自己防衛と思って武器を使用すれば、自衛隊員の命がおびやかされ、紛争や戦争に日本が巻き込まれます

テロや紛争は武力では解決しません

アメリカがアフガニスタンやイラク、リビアをはじめ世界各国で行っている武力による報復は、逆にテロリストにさらなるテロの口実を与えています。北朝鮮問題や尖閣・竹島問題の解決に必要なのは粘り強い話し合いと交流であり、軍事力ではありえません

以下のことを求めます

1. 市中パレードでの武装は、指揮通信車・装甲車・軽装甲車など戦闘用車両の運行、小銃・機銃・迫撃砲の携帯・けん引など、すべて中止すること。
2. 武装することの意味もわからないような子どもたちに対する子ども用自衛官制服の試着・撮影、各種無料配布などの宣伝・啓蒙活動を中止すること。



自衛隊武装パレード学習懇談会 (6月4日(火)、総合福祉センター)

「滝川第10普通科連隊パレードから見えてくるもの」のテーマで、北海道平和委員会代表理事の内山博氏が講演。第10普通科連隊について「9条が改正されればアメリカ海兵隊と一体で動く部隊。48時間以内に紛争地に行き、ゲリラ戦・通信・衛生を行う」と説明しました。(裏面参照)

日本共産党北空知留萌地区委員会・日本共産党滝川市委員会

賛同団体 滝川原水協・国民救援会中空知支部

連絡先 滝川市扇町3-3-28 TEL 23-0231 FAX 24-8556(日本共産党北空知留萌地区委員会)